



地元企業が 魅力をアピール



6月2日、市体育館で「鹿屋市合同企業説明会」が開催されました。これは、地元企業への就職を促進するために高校生以上を対象とした企業説明会。出展した地元企業76社による個別での企業説明のほかオンラインでも実施され、高校生や大学生、一般求職者など約400人が参加しました。自社の魅力を積極的に説明する企業に、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

静粛な雰囲気の中 吹矢競技が白熱



5月28日、市体育館で「燃ゆる感動かごしま国体デモンストレーションスポーツ『スポーツウエルネス吹矢』」が開催されました。これは6～10m離れた円形の的を目掛けて、息を使って矢を放ち得点を競う競技。当日は県内各地から集結した選手たちによる緊張感のある熱戦が繰り広げられたほか、同競技の体験会も開催され老若男女問わず多くの人が吹矢を楽しみました。

笑顔で凱旋 全国でベスト8



6月12日、鹿屋体育大学硬式野球部と関係者が市役所を訪れ、「第72回全日本大学野球選手権」の結果を報告しました。同大学の歴史上初となった全日本大会への出場は、九州の国立大学としては58年ぶり。ベスト8まで勝ち上がった同部には、市から黒毛和牛が贈呈されました。原俊太キャプテンは「多くの方の応援のおかげで勝ち上がることができた」と語りました。

父の日に合わせて 牛乳の消費拡大を



6月8日、県酪農業協同組合大隅支所青年女性会議と関係者が市役所を訪れ「父の日には牛乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーンを実施しました。これは、全国的に牛乳の消費が低迷している中、家庭や職場で牛乳の消費を促進するための取り組み。当日は関係者が200mlのパック牛乳約200個とグッズを無料で配布し、地元産のおいしい牛乳を市民にPRしました。

かのや深蒸し茶の 魅力をPR

6月8日、鹿屋市茶業振興会から新茶が寄贈されました。同会の三森淳会長は「今年は春先の寒暖差に苦労したが、色と香りが良いお茶ができた。今後も振興会全体で安全安心なお茶づくりに努めたい」と意気込みを語りました。

吾平地区のシンボルを 住民で清掃

6月4日、吾平町麓の始良川流域で「始良川クリーン作戦」が行われました。これは始良川の清掃を通じて川への親しみとボランティア精神の醸成を図るもの。当日は地域住民や地元企業など約200人のボランティアが参加しました。

ウミガメ保護のために 海岸のごみを拾う

5月28日、浜田・高須海岸でウミガメ保護に伴う海岸清掃作業が行われました。同海岸はウミガメの産卵地として知られており、当日は町内会や市内企業など約300人が参加。参加者は海風を浴びながら熱心にごみを拾いました。

